

# のリフレッシュ工法



樹脂吹付とモルタル吹付による新しい既設吹付モルタルの補修技術



# のリフレッシュ工法

これまでに多くの実績を積み上げてきたのリフレッシュ工法が、樹脂吹付による補修タイプを加え、新たに生まれ変わりました。

モルタルに生じたひび割れを簡易に閉塞したい…。モルタルは厚くしたくない…。こうした施設管理者・設計担当者からの要望にお応えします。

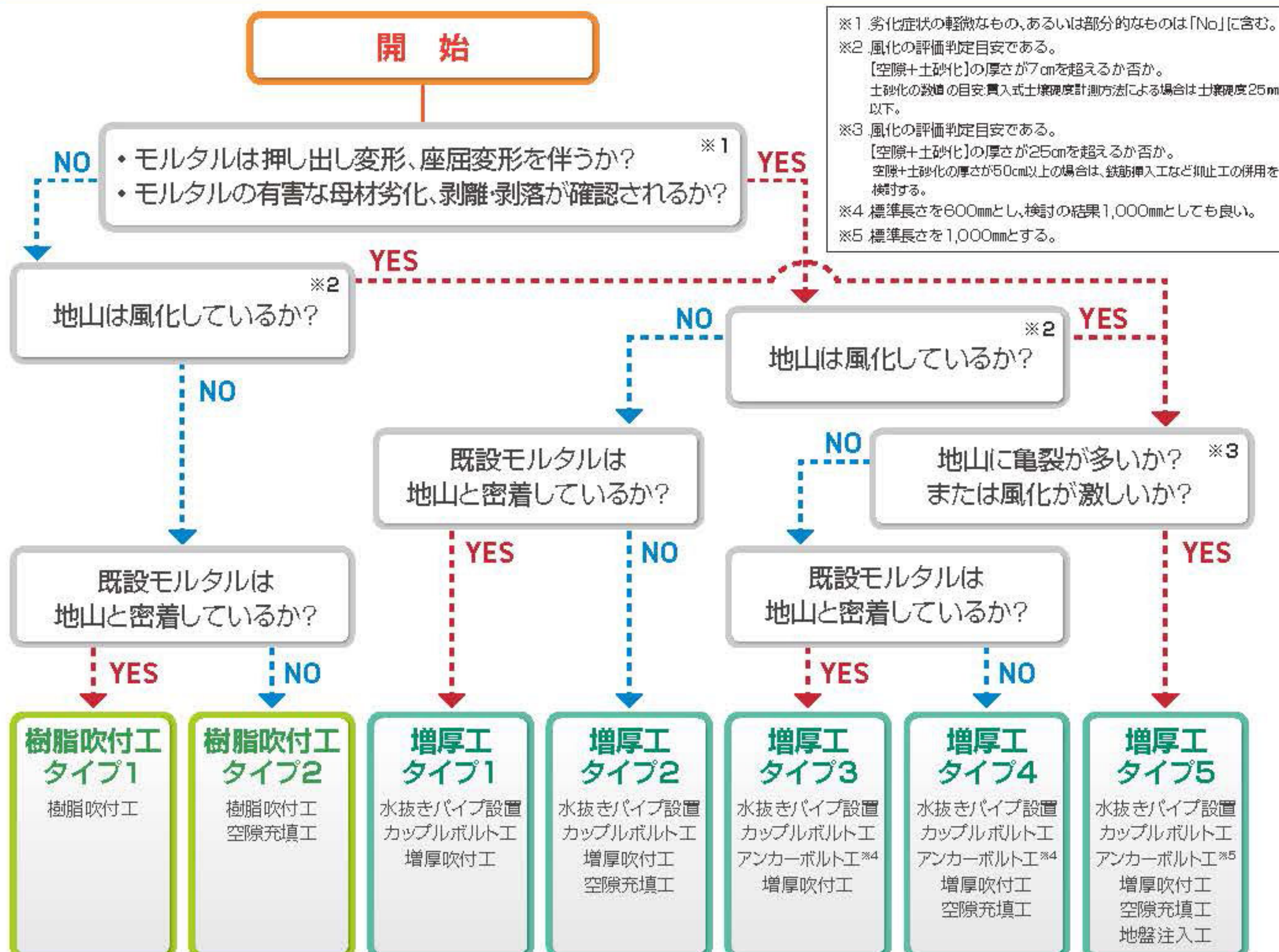
これまでの補修技術は、モルタル吹付工による増厚補修を基本構造としていましたが、のリフレッシュ工法 樹脂吹付タイプはひび割れで損なわれた遮水機能、風化防止機能を樹脂吹付による被覆で補います。新しいのリフレッシュ工法は、老朽化した既設吹付モルタルの補修目的に応じた多彩な対応が可能となりました。

## のリフレッシュ工法の特長

樹脂吹付タイプが加えられたことで…

- クラックの閉塞など軽微な補修を短期間に行えます。
- 機械設備が小さく、工事に必要な作業ヤード・仮設備が縮小できます。
- モルタル吹付で生じる骨材の跳ね返りがなく供用道路の安全性を損ないません。
- 補修工事による交通渋滞を緩和します。
- モルタルの母材劣化に対しては従来のモルタル吹付による増厚タイプで補修できます。

## 標準選定フロー

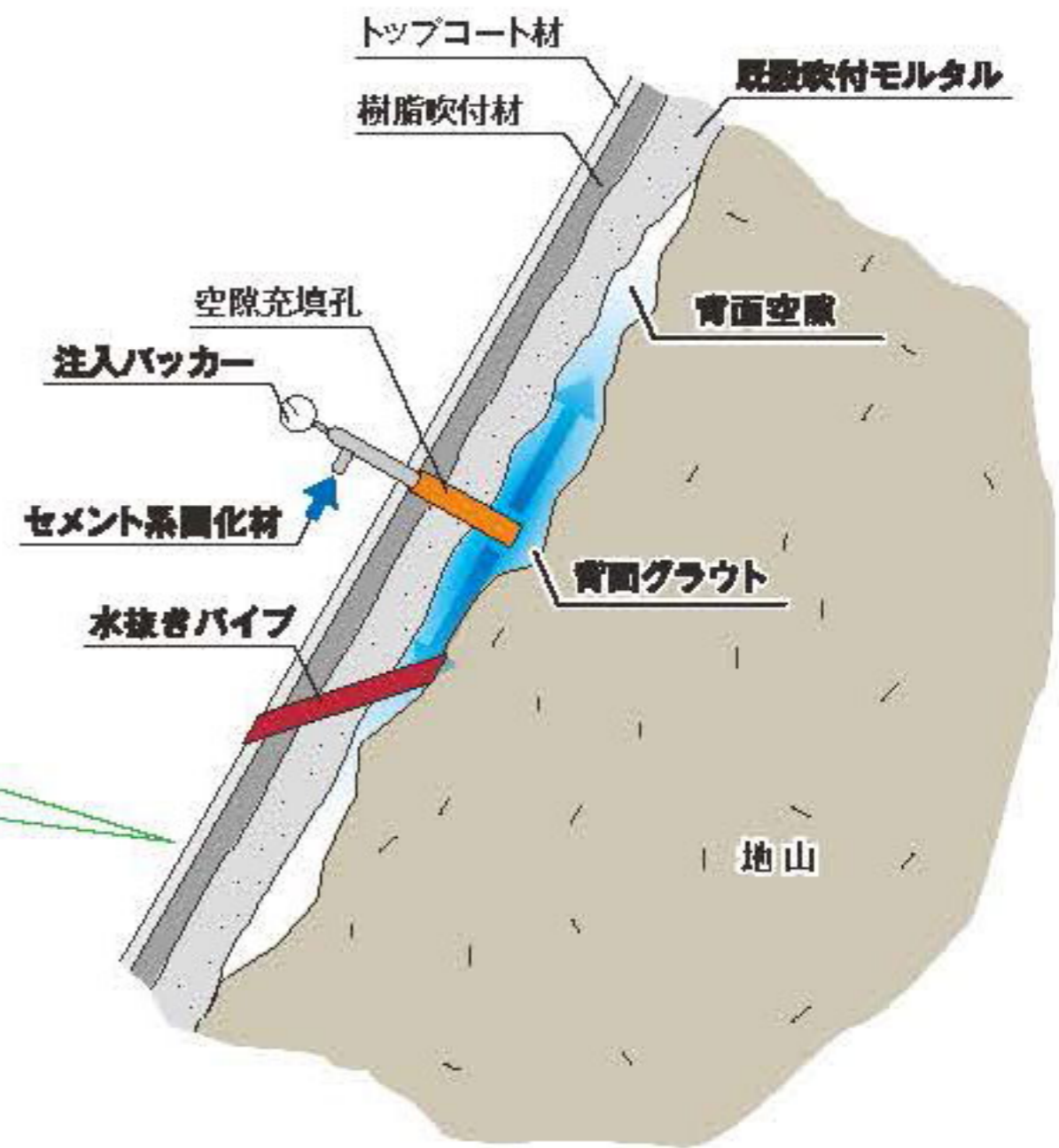
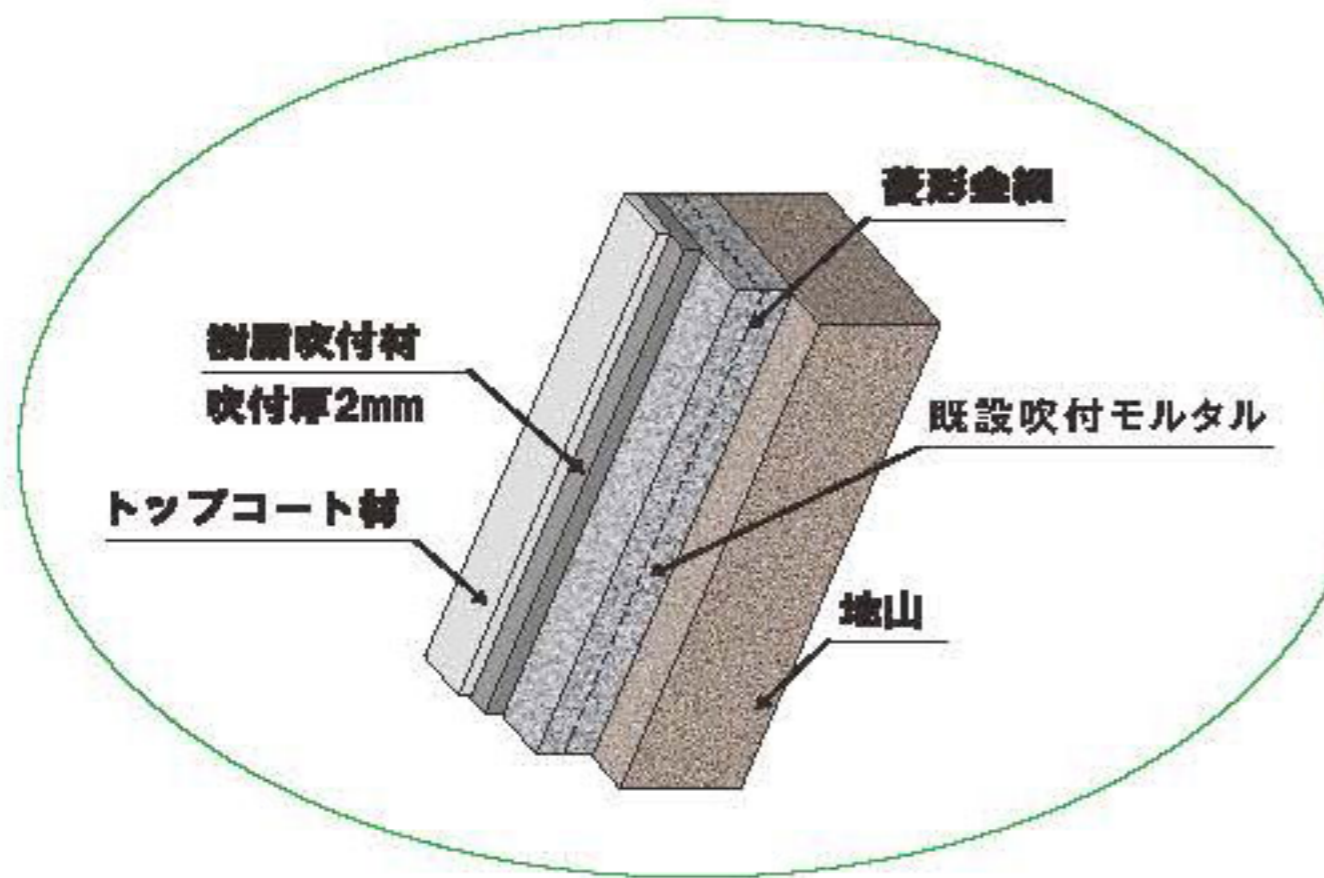


(注) フローに関わらず既設モルタルの状態、地山状態に応じてアンカーボルトを打設しても良い。

## ▶ 樹脂吹付タイプ (ELAST GUARD工法)

NETIS登録番号 KT-220229-A

ひび割れで損なわれるモルタル吹付工の遮水機能と風化防止機能を、樹脂吹付により回復します。水洗清掃した既設吹付モルタルに樹脂吹付材を吹き付けて被覆し、表面はトップコート材でコーティングします。



### 施工手順

- 1 のり面  
水洗い清掃工
- 2 確認調査工
- 3 樹脂吹付工
- 4 空隙充填工  
※必要に応じて行う
- 5 トップコート  
吹付工

※現場に応じてひび割れの補修をオプションで追加できます。



樹脂吹付工



トップコート吹付工



施工前



施工後

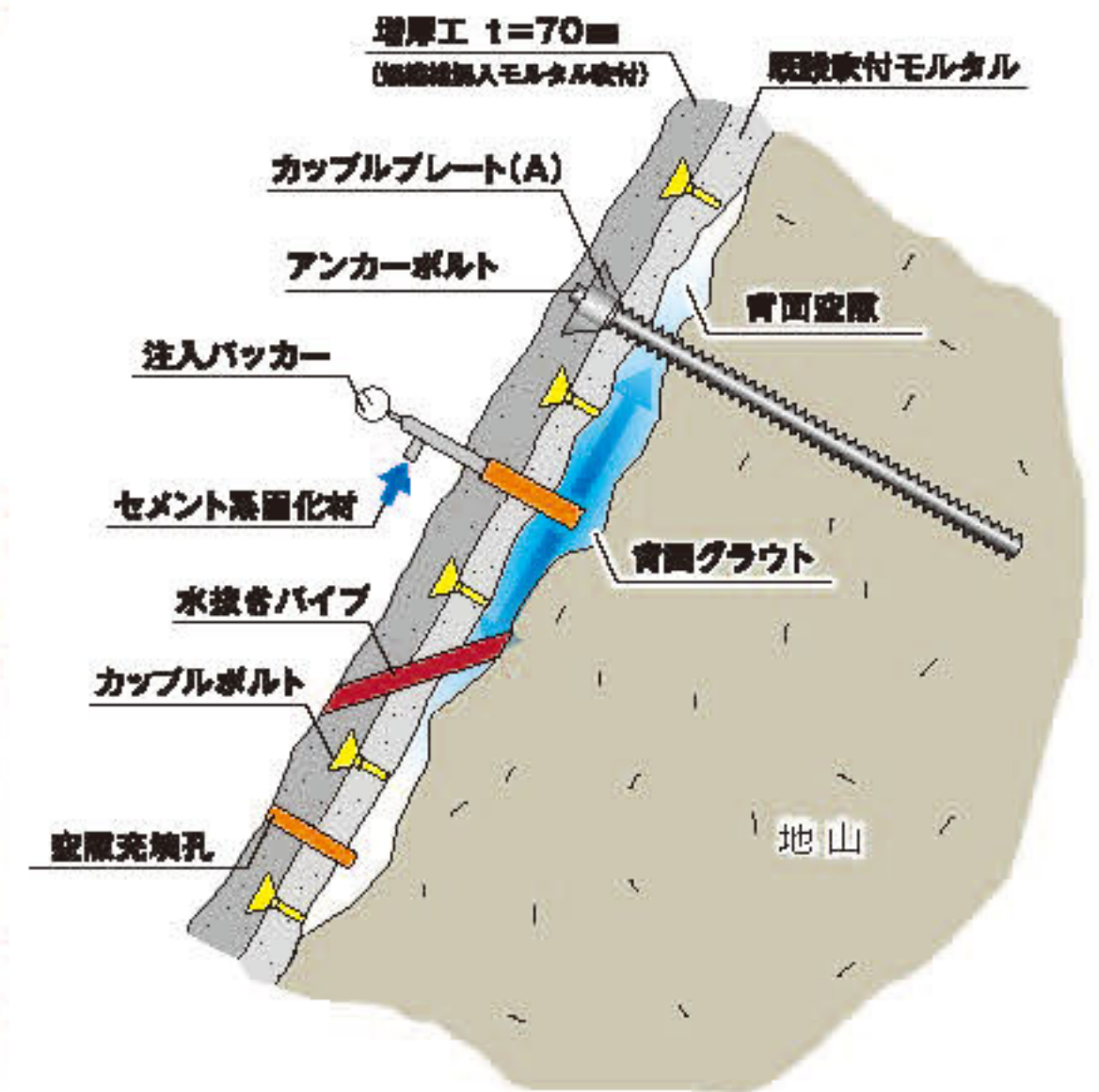


施工後 (近景)

## ▶ 増厚タイプ (アンカーボルト仕様 + 空隙充填工)

NETIS登録番号(旧G6-120026-VE)\*  
活用促進技術(新技術活用評価会議(北海道開発局))

増厚補修に加えて既設吹付モルタル背面と地山との付着を改善し、のり面の剛性及び安定度を回復します。  
既設吹付モルタル背面の空隙に、セメント系固化材の充填を行うことで密着性を回復させます。



施工前



施工後

### のリフレッシュ工法協会

〒102-8236 東京都千代田区九段北4-2-35  
(ライト工業株式会社内)

**URL** [www.norefresh.jp](http://www.norefresh.jp)

**e-mail** [info@norefresh.jp](mailto:info@norefresh.jp)

[お問い合わせ]

TEL.03-3265-2454 FAX.03-3265-3402

お問い合わせは下記へお申し付け下さい。